



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和5年2月17日(金) No 39 発行
文責：松本 卓也

「お互いが思っていることを言い合える、 あたたかい学校を目指して」 ～校内人権集会～

10日(金)6校時にリモートで校内人権集会を行いました。まず、生徒会長のIさんが生徒会執行部からの提言を行いました。

みなさん、こんにちは。今日は、人権集会を通して差別やいじめをなくしていくために自分たちがしなければならないことを、考えましょう。みなさんは、自分がつらい思いをしているときに、周りの友達や家族に「大丈夫じゃない」と素直に伝えることができますか。自分の考えを伝えることを不安に思い、周りに言えない人が多いのではないのでしょうか。そこで、私たち生徒会執行部は『お互いが思っていることを言い合える、あたたかい学校』を目指して、取り組んでいきます。まずは、「おはよう」のあいさつから始めましょう。あいさつで心を通い合わせるようになれば、少しずつ自分のことを話せるようになると思います。お互いのことを今よりももっと知って尊重し合えるようになれば、安心して自分のことを話せる関係を築き、困っている人に優しい言葉かけもできるようになると思います。生徒会執行部はこれから、そのための取組を考えていきます。みなさん、一緒によりよい東陽中を目指して頑張ってください。



クラス発表では、1年生が「話したいと思うようになりました」や「光ば見つけました」の学習を通して、お互いを知ること、価値観を押しつけるのではなく相手の気持ちを尊重すること等を発表しました。2年生は「全国水平社結成と水平社宣言」の学習を通して、クラスの課題(自分の考えに自信がもてない、注意ができない・聞かない)を解決するために、見て見ぬふりをせず、お互いのことをもっと知って寄り添い、「明日も学校に行きたいと思えるような笑顔の絶えないクラスにしたい」と力強く発表しました。3年生は、「握りしめたこぶし」、「私の選択」、「統一応募用紙の闘いに学ぶ」を通して、周りの意見に流されず自分の考えを言えるようになるとともに、「仲間との絆・仲間の大切さを改めて考える進路公開にしたい」、「卒業した後も、17名全員でつながっていききたい」と9年間を見つめなおして発表しました。それぞれの学年の発表後には、「返し」の時間があり、発表を聞いて学んだこと、感じたことを自分の言葉で返していました。最後に、2003年2月に制定された「東陽中人権宣言」を皆で斉唱しました。一人一人の思いがこもった素晴らしい人権集会でした。生徒会執行部およびこの集会に向けて努力してくれた皆さんに心より感謝します。

東陽中人権宣言

- 1 私たちは一人一人が「人権」を常に意識し行動します。
- 2 私たちは人が傷つく言動をせず人に気を配りに思いやりを持って生活します。
- 3 私たちは困っている人を見たら声をかけ協力して解決します。
- 4 私たちは自分のことは自分でし自律する心を養います。
- 5 私たちは互いに認め合い笑顔で悔いのない学校生活を送ります。

令和4年度東陽中学校人権集会

心の花を咲かせる ～花いっぱい運動～

9日(木)、花いっぱい運動を行い、ナデシコやパンジーの花苗をプランターに植えました。この運動は、花を通じて人々の気持ちを豊かにこの願いを込め、長野県松本市の小学校の小松一三夢先生によって始められました。これからの水やり等で植物を育てる楽しさや難しさ、開花したときの感動を味わってほしいと思います。順調にいけば、卒業式や入学式で満開の花をお披露目できる予定です。願いを込めた花々で、参加される皆さんの心に豊かな花を咲かせましょう。生活・環境委員会の皆さん、ありがとうございました。



橋をかける心 ～種山の石工～

10日(金)の放課後、以前、本校に勤務されていた八代第二中学校のY先生が、1年生の道徳科の授業「橋をかける心」を行うにあたり、本校が取り組んでいるボランティアガイドの取材に来られました。「ふるさと東陽町の紹介」や「ふるさとへの思い」、「ボランティアガイドを始めたきっかけ」等をインタビューされ、3年生がそれぞれの思いを答えていました。ふるさと東陽町の皆と魅力八代第二中学校の皆としたいと思います。「自立貢献」の姿を見せてくれました。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名 ()